

## 出土遺物の特徴

令和6年度の出土遺物は、大きく2つの時期にわけることができます。一つ目は、8世紀後半から9世紀半ば頃までの奈良・平安時代で、この遺跡の主体となる時代です。最も古い土器は、9区 SI90 の竪穴建物から出土した高杯<sup>たかつき</sup>で、7世紀後半から8世紀にかけてのものです。この遺構からは、カマドの部材とされる土製品も出土しています。また、7区を中心<sup>はじき</sup>に9世紀の土師器や須恵器多く出土しています。土師器では、食事に使う椀が多く、須恵器では、貯蔵のための大きな甕や壺が目立ちます。

2つめの時期は、13世紀の鎌倉時代です。遺物の数量は多くありませんが、中国産の青磁の椀のほか、能登半島で作られた珠洲焼が出土しています。陶磁器以外では、中国の唐代から宋代に作られた渡来銭が9点出土しました。この近くでは、かつて同じような渡来銭がまとまって出土した場所があり茶院B遺跡として登録されています。

なお、過去2年の調査でわずかに出土した古墳時代の遺物は、今年度は出土しませんでした。



渡来銭



青磁(上)と珠洲焼(下)



SI90から出土した土師器と土製品



平安時代の須恵器



線刻文のある緑釉陶器

茶院A遺跡の時代と直接関係はありませんが、近世～近代の溝から髪を結うための道具「笄」が出土しました。赤銅製で真ん中には家紋（丸に花角）が彫られています。刀剣に付属する拵えの一つと考えられ、遺跡から出土するのは珍しいです。



お車で 新潟西バイパス亀貝インターから南へ約10分(5km)  
北陸自動車道黒埼スマートインターを北へ約5分(3km)  
JR 越後線 寺尾駅から約18分(6.1km)  
青山バス停発 新潟交通バス W80、81味方・月潟線  
「木場川前バス停」から徒歩約25分  
「木場バス停」から徒歩約15分(土・日・祝日運休)

開館時間 / 平日 午前9時～午後5時  
土・日・祝日 午前10時～午後4時  
休館日 / 月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始(12月28日～1月3日)

### 問い合わせ先

新潟市文化財センター

〒950-1122 新潟市西区木場2748-1  
TEL 025-378-0480 FAX 025-378-0484

<https://www.city.niigata.lg.jp/kanko/bunka/rekishi/maibun/index.html>



# 茶院A遺跡発掘調査現地説明会

2024年10月19日(土) 主催 / 新潟市文化財センター 協力 / 株式会社吉田建設

## 茶院A遺跡について

茶院A遺跡は、西蒲区打越(旧中之口村)にある南北1.5km、東西0.5kmで南北に細長く延びる形状の遺跡です。遺跡は、現在の打越集落に沿った形で古い自然堤防（川の両側に土砂が堆積した地形）の上に営まれたと考えられます。標高は2.0～2.4mで西の高速道路側ほど低くなっています。高速道路の西側には旧鎧潟に注ぐ大通川があり、近世はじめに打越の西側にあった大沼の水を大通川へ排水し新田開発した経緯があります。大沼の跡地は、排水不良であったため堀を掘ってその残土で田のかさ上げする「掘上げ田」が作されました。掘上げ田は耕地整理が行われた昭和30年代まで残っていました。

## これまでの調査成果



古墳時代の土器と  
石製模造品が出土



「宅」記載の墨書き土器が出土



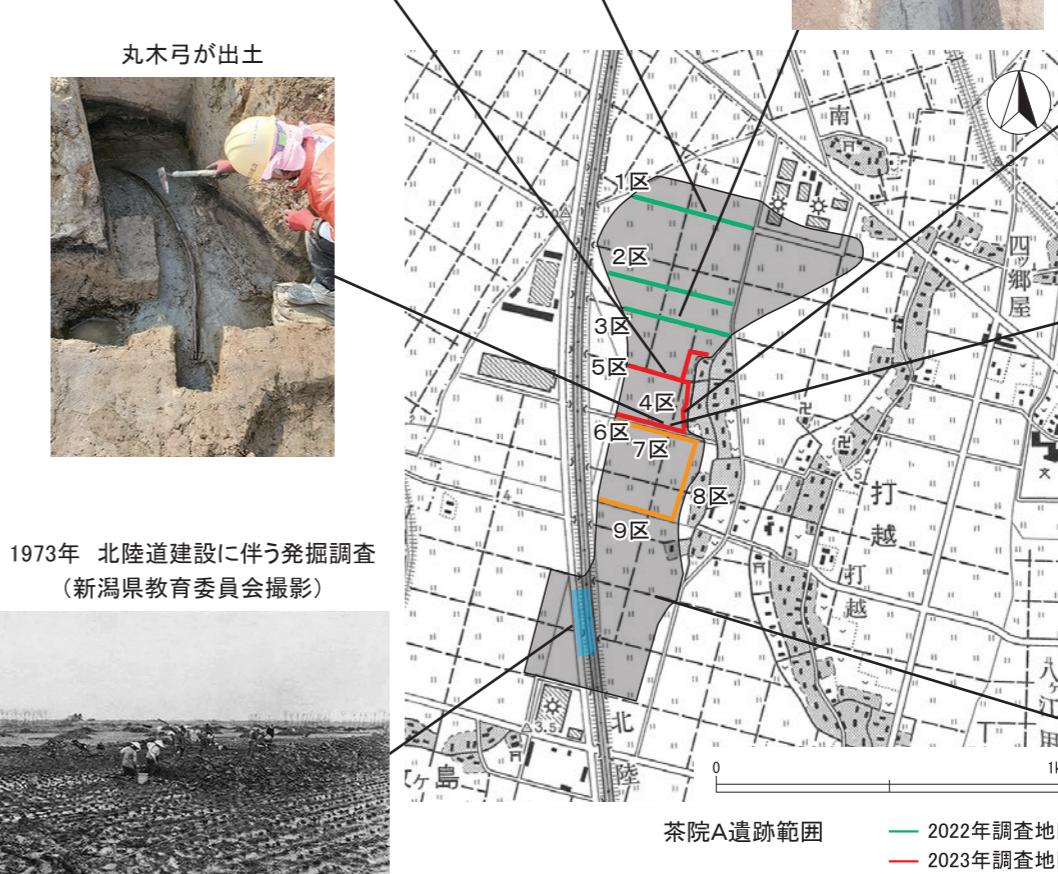
奈良時代の掘立柱建物



鎌倉時代の樹木列



丸木弓が出土



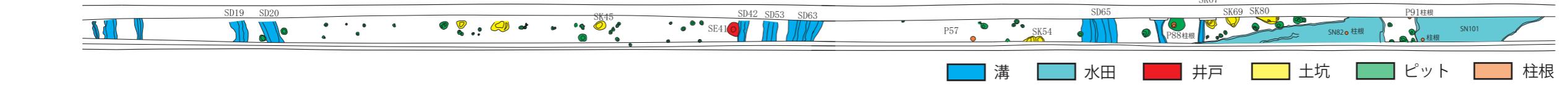
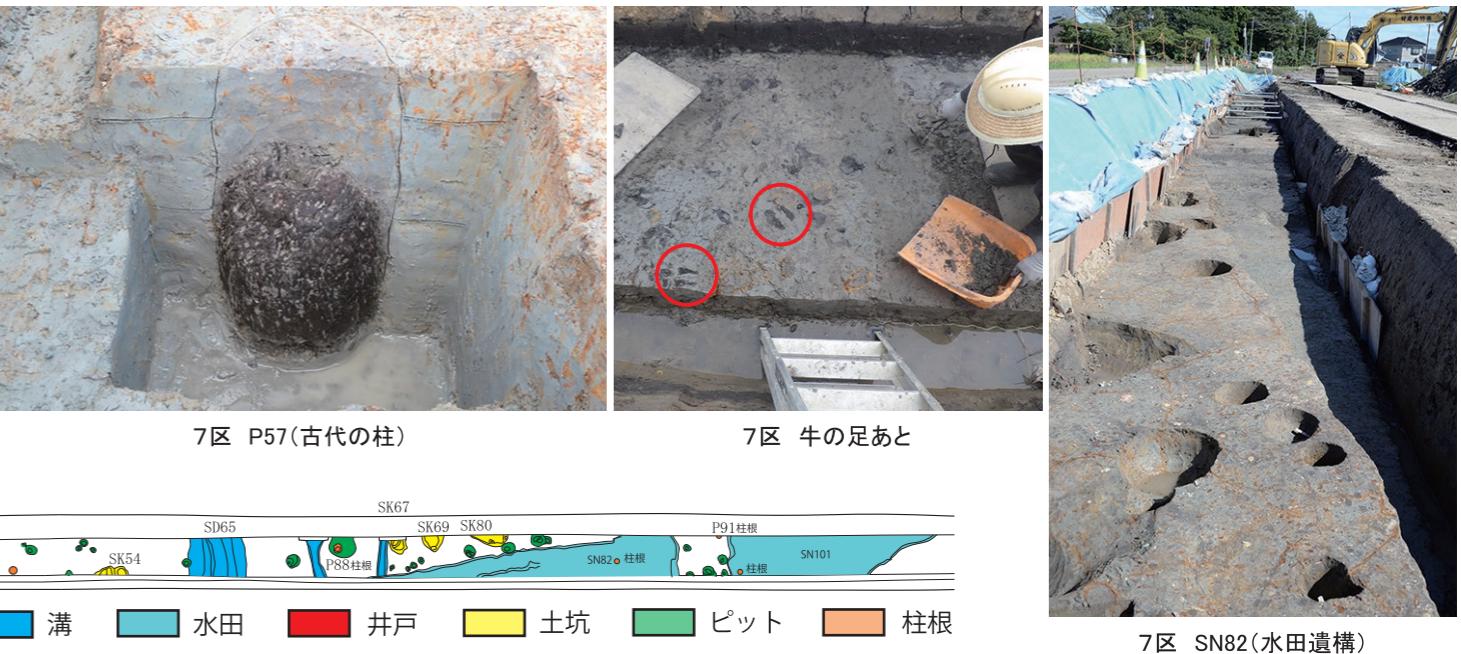
茶院A遺跡範囲  
■ 2022年調査地区  
■ 2023年調査地区  
■ 2024年調査地区



2019年 工事立会で丸木弓出土

## 令和6年度調査の概要

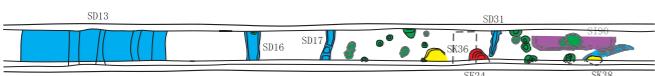
ほ場整備事業の排水管敷設部分の3路線、約1,550m<sup>2</sup>について発掘調査を行っています。いずれの路線も細長い調査区を設定していますが、遺構や遺物が特に多く検出されているのは、7区・9区の東側です。遺構を確認できる面（昔の人々が生活していた面）は標高1.5メートル前後で、東西それぞれに標高が低くなっています。低い場所は水田として利用されていました。現在の景観では平らに見えますが、鎌倉時代や平安時代の頃には、南北に長い微高地があったようです。また、7区と9区の西側では、地震に伴う液状化の痕跡「噴砂痕」が確認されています。奈良・平安時代の遺構面を割って、中世の遺物を含む層には到達していないので、9世紀以降、12世紀までの間に起こった地震と考えています。



上空から見た調査区(南から)



- ★の場所に解説員がいます。
- 一周約1kmあります。途中で戻っても構いません。
- 鉄板の上を歩いて下さい。農地(畑)には絶対に入らないで下さい。



■ 竪穴建物

## 9区

7区と同じく調査区中央から東側で遺構が多く検出できました。上層の鎌倉時代の井戸(SE24)からは、  
渡来銭(中国銭)が出土しています。

9区では下層の調査も進んでおり、下層からは奈良時代の竪穴建物(SI90)が見つかりました。建物の  
南側では、焼けた土が検出されたほか、カマドの部材とされる土製品が出土しました。

調査区西側は水田地帯だったようで、比較的残りのよい畦畔を複数確認できました。



9区 SE24(井戸)

9区 SI90(竪穴建物)